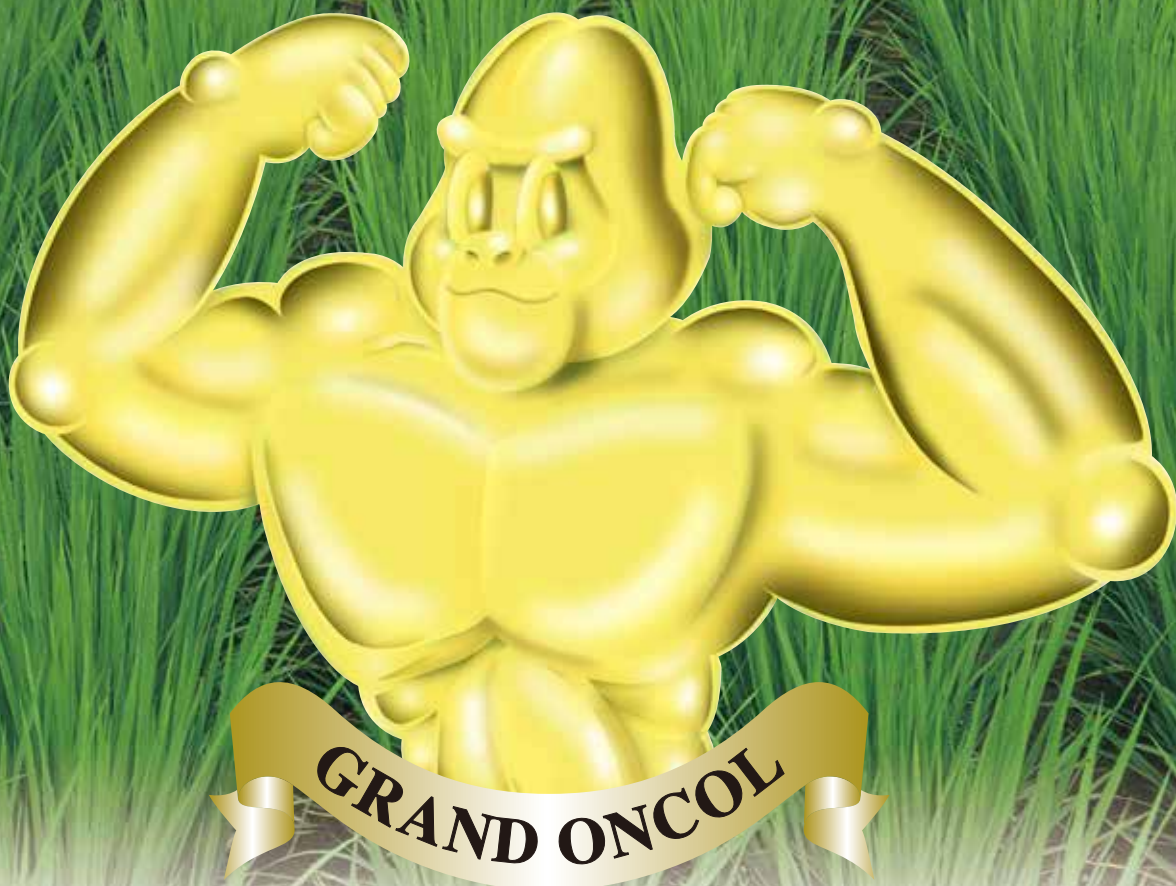


殺虫剤

グランドオンコル[®]

パワーアップ!!

粒剤



水稻育苗箱に**長く、パワフル**に効く



イネヒメゾウムシ



ツマグロヨコバイ



ヒメトビウンカ



セジロウンカ



ニカメイチュウ



イネツトムシ



イネドロオイムシ



レンコンネモグリセンチュウ



OAT アグリオ株式会社

オンコルはOATアグリオ(株)の登録商標

オンコル 粒剤5が 進化した!

- 有効成分含量8.0%で効力増強。
箱処理剤の定番「オンコル粒剤5」の卓越した性能をさらにパワーアップ。
- 製剤改良でさらに長期間安定した効果を発揮。
独自の製剤技術で効果持続期間がグンと伸びました。
- 育苗箱処理でよく効く、長く効く。
害虫の発生期間を通して強力な効果が持続。省力・低コストで確実防除。
- レンコンネモグリセンチュウに高い防除効果。
殺センチュウ効果と行動抑制効果を示し、高い防除効果を発揮。

■適用害虫の範囲および使用方法

2024年10月時点の登録内容

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ、 イネドロオウムシ ツマグロヨコバイ、 ヒメトビウンカ セジロウンカ、ニカメイチュウ イネツトムシ、 イネシンガレセンチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g 高密度には種する場合は1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g	移植3日前 ～ 移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回
	イネカラバエ、 フタオビコヤガ、 イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植当日			
れんこん	レンコンネモグリセンチュウ	15kg/10a	植付前但し、 収穫180日前まで		湛水散布後 全面土壌混和	

■れんこん田で使用する場合がございます

- ①漏水田では使用しないでください。使用する場合は、事前に漏水対策をしっかりと行い隣接田への流出を防いでから処理してください。
- ②収穫前の圃場が多い7～12月は、隣接田への漏水やドリフトによる作物残留の危険性が高いため、使用しないでください。
- ③ハウス栽培には使用しないでください。
- ④条堀り(筋堀り、残し堀り)した圃場では使用しないでください。
- ⑤湛水状態で所定量の薬剤を圃場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するよう、処理当日中に速やかに混和してください。処理後14日間は落水・かけ流しをしないでください。
- ⑥処理後6ヵ月間(180日間)は収穫しないでください。
- ⑦漏水田では使用しないでください。または、漏水対策を行い隣接田への流出を防いでください。



⚠ 使用上の注意事項

- ①本剤を使用した場合には、カルボスルファンを含む剤は使用しないでください。
- ②使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- ③稲の育苗箱に使用する場合
 - 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
 - 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
 - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
 - 稲苗の葉が濡れている場合薬害を生じやすいので、葉に付着している露を払い落とすから薬剤を散布し、軽く散水してください。
 - 誤って過剰に使用すると葉先枯れ等の薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用方法を厳守してください。
 - 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさけてください。
 - 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきをはいていないに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに湛水し、極端な浅水、深水はさけてください。また、深植にならないように注意してください。
 - 本田への移植後低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけてください。また、移植後極端な高温が続くと予測される場合も使用をさけてください。
- ④れんこんに使用する場合、湛水状態で所定量の薬剤を圃場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようにすみやかによく混和してください。処理後14日間は落水・かけ流しはしないでください。ハウス栽培には使用しないでください。条堀り(筋堀り、残し堀り)したれんこん田にも使用しないでください。漏水田では使用しないが、漏水対策を行い隣接田への流出を防いでください。特に、7～12月は収穫前のれんこん田が多く、隣接田へ漏水やドリフトすると作物残留のおそれがあるので、この時期の使用はさけてください。なお、薬剤処理後6ヵ月間(180日間)は収穫しないでください。
- ⑤ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- ⑥蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ⑦使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ⑧[医薬用外劇物]取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ⑨ベンフラカルブによる中毒の治療法としては、硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されています。
- ⑩眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ⑪散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- ⑫水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- ⑬水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養殖池等周辺での使用はさけてください。
- ⑭水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- ⑮散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温で乾燥し子供の手の届かない場所に密封して保管してください。
盗難、紛失の際は警察に届けてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器等は圃場に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

●取り扱い